

【学校教育の充実】

学校教育については、学力向上対策等を推進するほか、心身の健康増進と体力の向上を促進するとともに、児童生徒の立ち直り支援と居場所づくりに取り組みます。

また、少人数教育を推進するとともに、地域人材の活用など民間ノウハウの導入を図ります。

さらに、望ましい職業観・勤労観の育成に向け、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図るとともに、産業教育の振興を図るため、第17回全国産業教育フェア沖縄大会を開催します。

併せて国際化・情報化に対応するため、外国人による語学指導や小学校における英会話活動など、幅広い語学教育の実施や米国等への留学生派遣を進めるとともに、情報教育を推進します。

高等教育については、県立芸術大学における芸術教育・研究の充実・強化、ITを活用した高度な技術を有する人材の育成に努めます。

障害のある幼児児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育支援を行うとともに、教育環境の整備・充実を図るなど、特別支援教育を推進します。

また、経済的な問題で就学が困難な者に対する奨学事業等の充実にも努めるほか、私学教育の振興を図ります。

第17回全国産業教育フェア（沖縄大会）開催

将来の産業を担うスペシャリストの育成

- 本県産業を担う人材育成 -



産業教育の新たな風  
全国へ発信

全国産業教育フェア

作品展示・展示即売・ステージ発表・進路フォーラム・ロボット競技・フラーアレンジメント  
(幅広い人々の参加による専門高校生の展示・発表、技能・技術の直接体験)

期日:平成19年11月23日~24日

会場:沖縄コンベンションセンター 宜野湾市民体育館 宜野湾港マリーナ

参加総数  
目標7万人

沖縄県産業教育フェア  
(学校・学科を超えた連携・情報交換・交流)



県内専門高校の取り組み

特色ある取り組み

- ・バイオ・リンの開発(ストックホルム青少年水大賞)
- ・特許申請(低温海塩結晶化装置)
- ・ソーラーカーの製作
- ・全国初のファイナンス科(名護商業高校)
- ・郷土素材の開発(もずく・モロヘイヤ料理、かりゆしウェアのデザイン)
- ・資格取得(危険物取扱主任、雷験二種、旅行業取扱主任)

沖縄の特色

産業界・大学との連携

- ・在来豚アグーの研究
- ・パッション酸乳の商品化
- ・ゴーヤー種の開発
- ・校内テラートの開催
- ・新種芋(ハスバラハ)の開発

連携

エネルギー教育

民間活力導入

実習・課題研究

沖縄県経営者協会

沖縄県工業連合会

目指せスペシャリスト

就業体験の実施

みんなの専門高校プロジェクト

沖縄県産業教育振興会

琉球大学

### 【青少年の健全育成と生涯学習の推進】

青少年の健全育成については、学校・家庭・地域が連携し、異年齢による共同生活体験や自然体験活動などに取り組むことにより、健全でたくましい青少年の育成に努めます。

また、学校、警察、地域が連携して、青少年の深夜はいかい防止一斉行動や青少年を取り巻く環境の浄化など健全な社会環境づくりを進めます。

さらに、おきなわ県民カレッジにおける主催講座の開設など、広域的な学習機会の拡充を図り、生涯学習の推進に努めます。

### 【文化とスポーツの振興】

文化の振興については、世界遺産登録の文化財をはじめ、重要な文化財の保護・整備・活用を推進するとともに、沖縄発祥の空手や組踊など沖縄の伝統文化の振興と「しまくとぅば」の普及・継承を図り、県民の多様な文化・芸術活動を促進します。

なお、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」については、副読本やDVDを活用し、学校教育のレベルから普及・啓発に努めます。

また、音楽を中心とした地域性豊かな沖縄文化を国内外へ発信するための方策を調査・検討します。

さらに、11月に開館する県立博物館・美術館の開館記念展を開催するなど、国内外に沖縄の歴史・文化・芸術を発信します。

スポーツの振興については、平成22年度の全国高等学校総合体育大会の開催に向けた取組とともに、サッカー専用競技場など施設整備の検討を進めてまいります。

また、スポーツ・文化・芸術の分野等で、世界的に活躍できる人材の育成を図ってまいります。



県立博物館・美術館

【空港・港湾・道路等の整備】

空港については、那覇空港の沖合への空港施設の展開等に向けた総合的な調査の実施など条件整備に取り組むとともに、新石垣空港の整備を着実に推進します。

港湾については、那覇港の臨港道路等を整備するとともに、中城湾港や本部港などを整備します。

また、ヨットハーバーなど公共マリーナ施設については、中城湾港西原与那原地区の整備を進め、利用者のニーズ等を踏まえながら、全県を対象に適地の検討を進めます。

道路については、那覇空港自動車道や沖縄西海岸道路等の整備を促進するとともに、伊良部架橋、平良城辺線電線共同溝、沖縄のみち自転車道等を整備します。

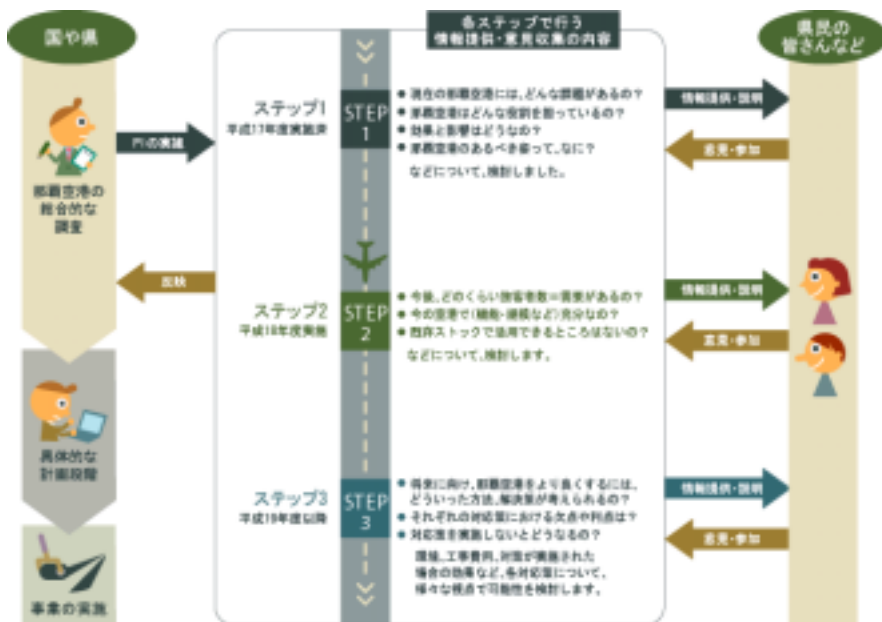
都市モノレールについては、引き続き効果的な需要喚起策を実施するとともに、首里駅から沖縄自動車道までの延長検討調査を実施します。

併せて、生活バス路線の維持・確保やバス路線網再構築などの交通需要マネジメント施策等を推進するとともに、軌道系交通システムの導入について検討を行い、渋滞の緩和や公共交通の利便性向上に取り組みます。

また、中南部都市圏における総合的な都市交通マスタープラン及び都市交通戦略を策定するため、パーソントリップ調査を実施します。

さらに、「沖縄らしさ」を活かした景観の保全・創出を図るため、市町村との連携を図りつつ、沖縄県の景観計画を策定します。

< 那覇空港の総合的な調査におけるパブリック・インボリューションの進め方 >



## 【水資源の開発】

水の安定確保については、大保ダム及び億首ダムの建設等を促進するとともに、名護導水施設等の整備など、西系列水源開発事業を推進します。

## 那覇空港自動車道・沖縄西海岸道路等の整備(ハシゴ道路ネットワーク)



## 電線共同溝の効果

安全ですっきりとした街づくりのための電線類の地中化



## パーソントリップ調査

- ・どんな人(パーソン)が
- ・どんな目的で
- ・どこから、どこへ
- ・どのような時間帯に
- ・どんな交通手段を利用して
- ・移動(トリップ)しているか



都市圏の将来の総合的な交通計画を策定

離島・過疎地域については、豊かな自然環境などの優位性を生かした地域づくりを促進するとともに、生活環境面での不利性の軽減に向けた取組やユニバーサル・サービスの確保に努めます。

#### 【産業の振興・生産基盤の整備】

国に設置された「離島活性化調査検討会議」（通称：美ら島会議）と連携し、離島地域の活性化に必要なノウハウを有する専門家の派遣や、各離島の地域資源やアイデアを生かした産業育成に取り組みます。

また、農業用水源の確保や南大東漁港の整備など、生産基盤の整備を進めるとともに、離島における石油製品の価格の安定と円滑な供給を図ります。

#### 【交通・情報通信体系・生活環境基盤等の整備】

さらに、生活路線としての離島航路、バス路線及び離島航空路の維持・確保に努めるとともに、伊良部架橋、平良城辺線電線共同溝の整備や、新石垣空港、仲田港など離島の空港、港湾を整備します。

情報通信基盤については、石垣島北部等において高速・大容量・低コストの通信を可能とするブロードバンド環境の整備を支援します。

生活環境基盤については、南・北大東村の一般廃棄物最終処分場の整備など廃棄物の適正処理を促進するとともに、久米島町において儀間ダム及びタイ原ダムを整備するほか、石垣東部地区等の集落排水施設を整備します。

#### 【保健・医療・福祉の充実】

保健・医療・福祉については、離島・へき地への専門医派遣の他、医師修学資金貸与事業やドクターバンク事業の実施など、医師確保対策を強化します。

また、ヘリコプター等による急患搬送体制の充実や離島・へき地遠隔医療支援情報システムの活用など、離島の医療体制の充実に努めます。

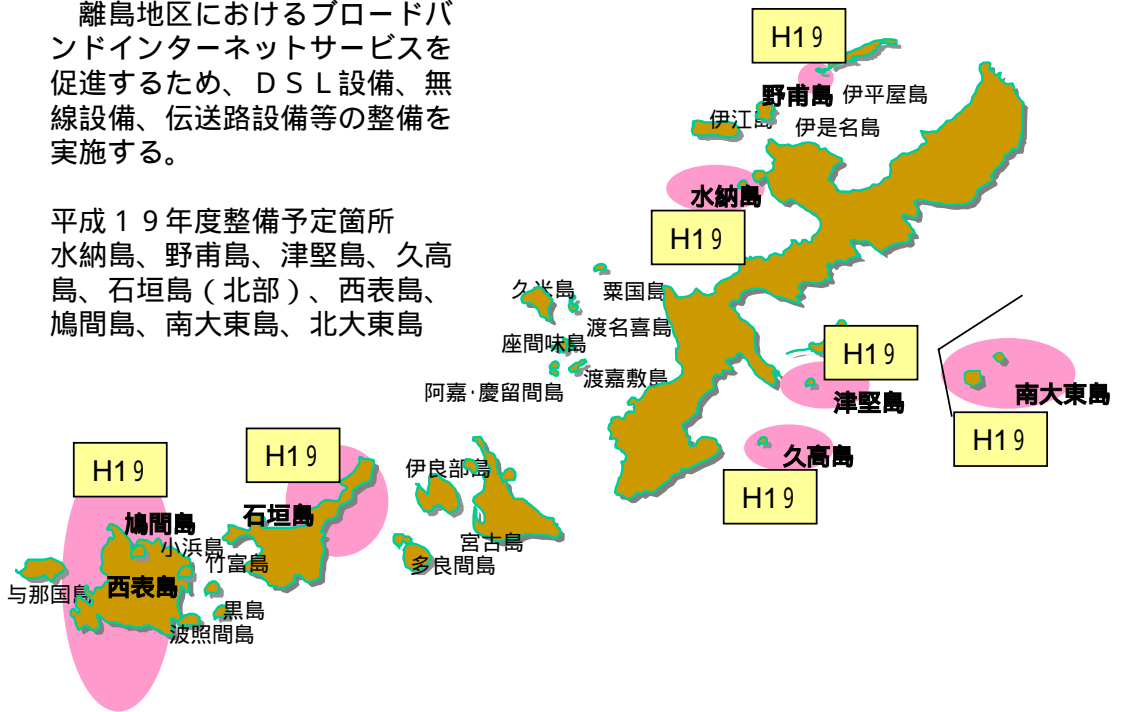
さらに、介護サービス基盤の確保や充実にに向けた取り組みを支援します。

# 沖縄県離島地区ブロードバンド環境整備促進事業

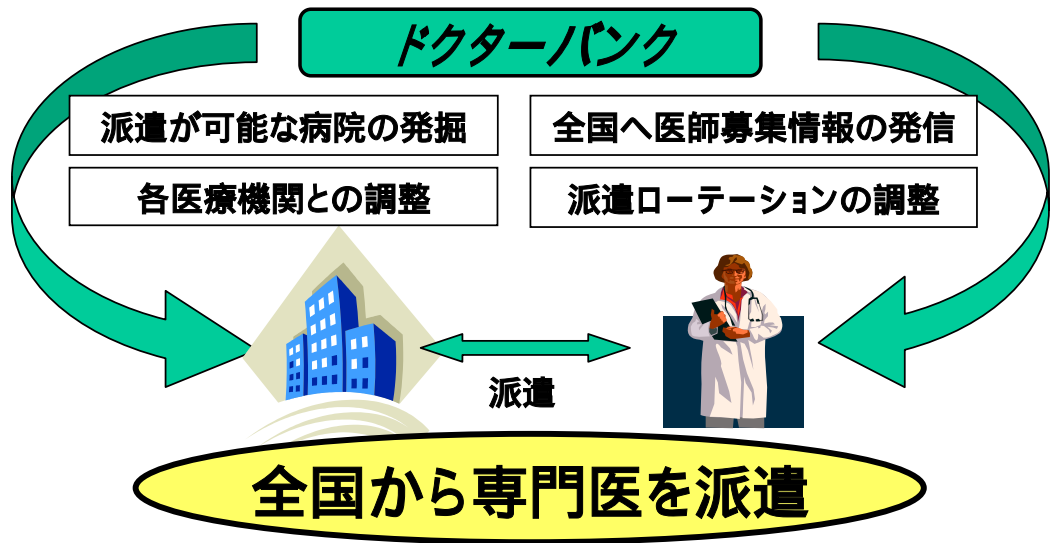
## 事業概要

離島地区におけるブロードバンドインターネットサービスを促進するため、DSL設備、無線設備、伝送路設備等の整備を実施する。

平成19年度整備予定箇所  
水納島、野南島、津堅島、久高島、石垣島（北部）、西表島、鳩間島、南大東島、北大東島



## 離島・へき地ドクターバンク等支援事業





簡素で効率的な行政体制を構築し、県民満足度の高いサービスを提供するため、「沖縄県行財政改革プラン」に基づき、事務事業の選択と集中、出先機関の見直し、職員定員の適正管理、給与の適正化、財政の健全化等に取り組むとともに、行政版コールセンターの設置について検討を進めます。

また、合併市町村への財政的支援等に努めるとともに、合併構想に基づき、引き続き、市町村合併を推進します。

なお、地方分権の進展に伴う行政需要の多様化に的確に対応できるよう、国、市町村との人事交流に取り組めます。

さらに、公社等外郭団体の見直しや病院事業の経営健全化等を進めるとともに、行政の役割を改めて見直し、NPO等との協働や民間委託等を推進します。

## 「沖縄県行財政改革プラン」の推進項目体系図

理念：「県民本位の成果・効率重視のスマートな行政」

